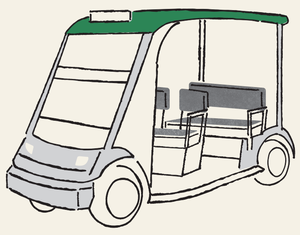
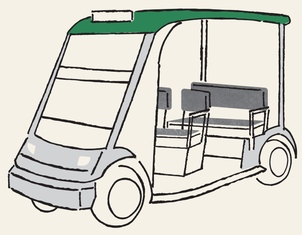
島根県大田市・石見銀山大森地区における「ぎんざんカート」運行実証実験の現状報告





keywords: 公共交通事業経営、グリーンスローモビリティ

（株）バイタルリード　遠藤寛之／大田市観光振興課　松村和典

■背景

2007年7月　世界遺産登録
→オーバーツーリズムにより住民からバス廃止要請

2008年　　地域内バス路線の廃止

2017年　　移動制約者向け交通手段の社会実験
（2017年大田市事業、2018年国交省事業）

2019年～　　環境省事業※による長期実証運行
大田市、レンタサイクル河村、石見交通、
バイタルリード　の4者でコンソーシアムを形成
※IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業
（環境省・国土交通省連携）

2021年4月1日～「ぎんざんカート」として有償運行開始

目的：観光客と地元住民の移動手段の確保

Instagramで配信中！

GINZAN.GSM

公式 web サイト

■現地の状況

歴史的なまちなみの残るエリア

自然豊かな風景を楽しめるエリア

■実験の状況（本年度の実験内容）

① 有償運行　4/1～12/31

交通空白地有償運送事業（運行主体：大田市）で運行
1日平均34.3人（延べ利用者）／14,309円（運賃収入）※7月31日時点
→事前のシミュレーション比+54.5%（人数比）

町民の利用もほとんどなし…　…しかし…

収支シミュレーションでは
収支率 50%弱程度

利用増でも単純計算で
収支率70%超
⇒定員等の制約により
100%は達成困難

② 町民専用カートの運行　6/16～6/30

無償のデマンド運行
デマンド稼働5日13回延べ26人利用

ニーズはあるが定時定路線では対応困難
…デマンド運行で専用車両が必要？

⇒現状では採算ラインに届いていない
⇒一方で地域ではカートを活用したまちづくりの機運が高まっており、活用可能性や収支改善策の検討が必要

③ 交通・施設の連携チケット

■石見交通バス（大森代官所跡～世界遺産センター間）
■ぎんざんカート（全区間）or　レンタサイクル（2時間）
■町内観光施設（地図内★）　が1日利用可能

・大人~~3,370円~~（通常）▶ 2,400円（予定）
・10月～12月に運用予定

来年度以降の地域組織運営での本格運行を目指します

チケット券面イメージ
（現在調整中）

★活用可能性の検討（町民意見交換会で出た意見）

●宅配便のラストワンマイル輸送代行
→自家用有償（少量貨物）での宅配代行
1日30個前後の宅配で5,000円前後の収入獲得
課題：宅配事業者との調整、宅配端末操作
町民ニーズ 35.3%

●お弁当や買い物商品の配達・出前
→町内の商店、飲食店の商品の配達
1日10個前後の宅配で1,000円前後の収入獲得
課題：夏季の対応
町民ニーズ 45.1%

●小学校や保育園のスクールバス
→町内にある小学校や保育園へのラストワンマイル送迎
1日2回の送迎で3,000円前後の収入獲得
課題：費用負担
町民ニーズ 43.5%

★収支改善策の例（地域組織ヒアリングで出たアイデア）

●客単価の引き上げ
→付加価値を付けたサービス展開（観光案内等）

●カートの航続距離引き上げ
→途中の充電時間カットによる便数増

●座席数の増加
→隊列走行技術や座席数の多い車両の登場に期待

●外部収益の獲得
→広告収入、クラウドファンディング等の活用

●支出の引下げ
→車両購入の補助、エネルギーの地産地消

●地域全体の収益増による赤字補填
→観光施設等と連携したチケットの生成